

005 健康経営 取り組み事例

企業
プロフィール

OMRON オムロンヘルスケア株式会社

業種 16 電気機器

従業員数 合計3,770名(2025年3月末)

01 推進方針

私たちは、心身ともに健康で、好奇心に満ち溢れ、ワーク・ライフ・バランスのとれた毎日の中で、失敗を恐れず元気にチャレンジし続け、自らの取り組みを通じて得た知見を活かし、お客様が笑顔になる商品やサービスを創造します。また社会全体における健康経営の実践に貢献していくことを目指します。

02 目標・課題

目標 OHQ社員の自律的な心身の健康管理と行動変容による未来永劫イベントゼロ*
*高血圧に起因する脳・心血管疾患の発症ゼロ

目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
自律的健康増進行動の定着度(血圧測定率)	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
80%	2030年度

自社従業員の課題

重点課題① [KGI] 血圧測定率80%

⑧健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

課題内容 2020年血圧測定率100%達成後、自律測定に方針変更。血圧・歩数・体組成のうち、いずれか1項目以上測定した社員割合(月平均)は65%以上をキープするも血圧測定率は40.8%へ低下。イベントゼロを目指した自律測定促進に向け、KGIを1項目以上月平均測定率から自律的健康増進行動の定着度(会社の健康施策で得た知識を活用している社員割合)に変更、KPIを血圧測定率において強化策を継続実施する。

名称:オムロン ゼロイベント チャレンジ

数値目標 (KPI)	数値	単位	年度
取組前実績値	—	—	—
現在の実績値	40.8	%	2024年度
目標値	60.0	%	2025年度

重点課題② [KGI] 喫煙率ゼロ

⑩従業員の喫煙率低下

課題内容 当社はゼロイベントをミッションに掲げて、多くの病気のリスクを高める喫煙の社内撲滅に向け長年取り組んできた。就業時間内禁煙等禁煙実践の仕組みを整えた後、喫煙者の意識や行動変革に向けた施策の継続実施により年々喫煙者は減少しているが、絶対にタバコをやめないという岩盤層の存在も認識され、目指す喫煙者ゼロに至っていない。ゼロイベントを掲げる会社としてあきらめず継続して喫煙者を減らしていくことが課題である。

名称:卒煙チャレンジ

数値目標 (KPI)	数値	単位	年度
取組前実績値	17.9	%	2017年度
現在の実績値	5.2	%	2024年度
目標値	ゼロ	%	期限を設けず

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

入社時に自社IoT健康管理機器(血圧計、活動量計)を無償配布、アプリでデータリンクを構築。チーム、個人でウォーキングイベント、キャンペーンを実施。血圧のモニタリング、その社会的価値、疾患リスクを説明会で周知、健康リテラシーを向上。

具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス
名称	オムロン ゼロイベント チャレンジ (OMRON connect 含む)
内容	全従業員に無償配布した血圧計、活動量計で測定推進月間を設定。アプリで測定継続による習慣化を促し、楽しみながら継続できるウォーキング企画等イベントを実施。
導入時期	血圧は17年度から、ウォーキングは09年度から
評価 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 20年度 血圧測定推進週間における測定実施率率:100% 達成。(以降会社指示起点の測定から自律測定にシフト) 健診血圧×家庭血圧でリスク分類進み、多数のリスクの高い仮面高血圧者*(135/85mmHg以上)を発見。 https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/health-and-productivity.html *健診では基準値以下だったが、家庭血圧の平均値では基準値を超えた人 社員全員が家庭での血圧測定を習慣化し、自分の血圧レベルを知り、生活習慣の見直しと行動変容をおこなうことで、全員が血圧の適正化を目指すことにチャレンジしている。

具体的な実践内容2

分類	自社グループ組織	名称	オムゼロランチ
内容	社内食堂で減塩・高カリウム「オムゼロランチ」等を提供。毎月健康テーマを設定し、メニュー企画と啓発を実施し生活習慣病予防を推進。		
導入時期	2016年度～		
評価 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 「オムゼロランチ等の健康食の積極的な選択をしているか」というアンケート設問に対し、取組んだ従業員の34.2%のうち、63.1%から体調の改善や意識向上等の結果に繋がったとの回答。栄養バランスや食材の知識を深め、食生活改善意識を高めることに繋がり、従業員の健診データの改善や健康増進に良い影響を与えていると考えられる。 		

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	ベジチェック
提供元社名	カゴメ株式会社
内容	推定野菜摂取量を測定できる機器を用いて自身の野菜不足度を「見える化」して食生活改善のきっかけを提供。
導入時期	2020年度
選択理由	●社名・ブランド ●機能・性能
評価 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> カゴメ社ベジチェックを用いて従業員の79.4%が野菜摂取充足度の計測を実施。オムゼロランチとの連動や青汁等の企画を通して野菜摂取を啓発した。従業員家族参加イベントでも測定を行い従業員家族にも野菜摂取の啓発を実施。

施策内容(重点課題2)

チーム制 卒煙チャレンジ

具体的な実践内容1

分類	自社グループ組織
名称	卒煙チャレンジ
内容	世界禁煙デーのトップメッセージと禁煙推進ポスター掲示、全管理職層デスクに禁煙推進のぼり設置、チーム制卒煙チャレンジや卒煙応援メッセージ、医療職からの個別サポートや後押し施策を継続実施。
導入時期	2017年度～
評価 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 17年度 17.9% 18年度 16.3% 19年度 12.9% 20年度 10.4% 21年度 8.9% 22年度 6.4% 23年度 5.1% 24年度 5.2% 喫煙率は2018年度から2025年度の間16.3%から5.2%まで低下。2024年から2025年度も再喫煙者無し。また、会社が「タバコの怖さの出前授業」で子供達に喫煙の怖さを伝えていることを岩盤層が意識していることも確認済み。現在の施策は再喫煙抑制や喫煙者の禁煙意識醸成に向け高い効果を持続。

04 健康経営の成果

検証指標	2020年度「OHQ健康経営方針」実践指標を以下にする。1. 血圧測定率100% 2. 喫煙率9.9%
検証手法・方法	1. 入社時に社員に血圧計を提供しアプリに連携していただく。血圧測定推進月間を年に複数回設定、皆で楽しみながら継続できるイベント実施、その月間内に1回でも血圧測定した社員割合をアプリからデータ取得。 2. 毎年同じタイミングで喫煙に対するアンケートを実施しアンケート結果から喫煙している社員の割合を試算。
検証結果 (具体的な施策の成果を含む)	1. 2020年8月血圧測定率100%達成。以降、会社指示起点の測定から自律測定にシフト。 2. 喫煙率は10.4%。禁煙意思あるが行動なし層散見。チーム制取り組みや医療職サポート周知必要性再認識。

データ活用事例

事例名	IOT健康管理機器とデータリンクの自社のシステムも活用(①②に記載済み)	内容	同左
利用データ	健康診断、問診、ライフログ(血圧、歩数)	利用者(ユースケース類型)	ユースケース1、2、3の複合